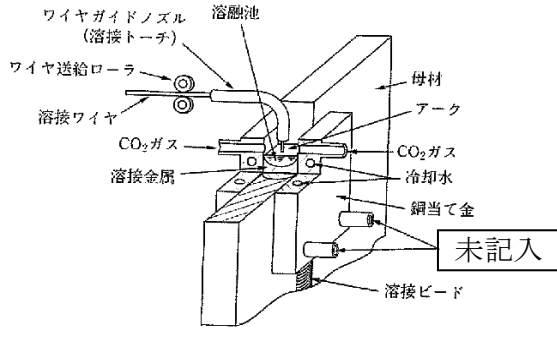
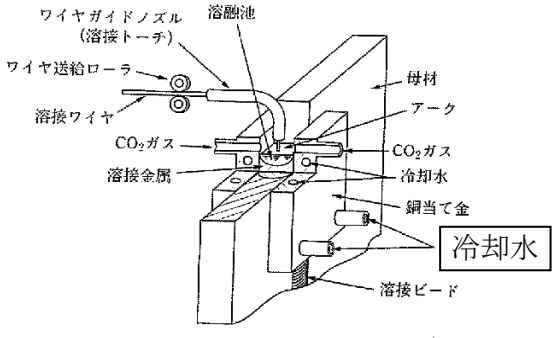
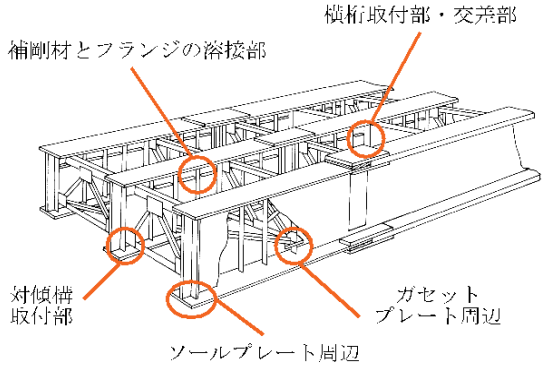


# 土木鋼構造物の点検・診断・対策技術(2007年度改訂版)の正誤表

章	ページ	行, 図表	誤	正
1	3	右上14		<p>【以下の記述を追加】</p> <p>(21)モニタリング：構造物の性能評価を行うために、構造の状態や構造への作用を、観察もしくは測定することであり、得られたデータの分析・評価も含む。なお、載荷実験なども含む。</p>
2	20	左上7	わが国においては1886年に	わが国においては1857年（新暦で1858年）に
2	20	左下8	JIS G 3101「溶接構造用圧延鋼材」	JIS G 3106「溶接構造用圧延鋼材」
3	57	図3.1-8	 <p>図3.1-8 エレクトログラスアーク溶接の概要<sup>4)</sup></p>	 <p>図3.1-8 エレクトログラスアーク溶接の概要<sup>4)</sup></p>
4	87	左下1	①低い炭素等量の鋼材を選択する。	①低い炭素当量の鋼材を選択する。
6	165	図6.2-5	未掲載	 <p>図6.2-5 鋼桁橋における疲労損傷箇所</p>

章	ページ	行, 図表	誤	正																				
11	300	図11.3-1	<p>* 供用期間の腐食量に見合った鋼材の板厚を付与する。</p> <p>図 11.3-1 港湾鋼構造物の防食パターン</p>	<p>* 供用期間の腐食量に見合った鋼材の板厚を付与する。</p> <p>図 11.3-1 港湾鋼構造物の防食パターン</p> <p><b>【電気防食の範囲を変更】</b></p>																				
11	303	図11.4-4	<p>図 11.4-4 欠陥面積率 (ASTM-D610による)</p>	<p>図 11.4-4 欠陥面積率の例</p> <p><b>【欠陥面積率の区分け数を変更】</b></p>																				
11	303	表11.4-3	<p>表 11.4-3 塗 装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>欠陥面積率 0.3%以上</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>欠陥面積率 0.1%以上 0.3%未満</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>欠陥面積率 0.03%以上 0.1%未満</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>欠陥面積率 0.03%未満</td> </tr> </tbody> </table>	判定基準		a	欠陥面積率 0.3%以上	b	欠陥面積率 0.1%以上 0.3%未満	c	欠陥面積率 0.03%以上 0.1%未満	d	欠陥面積率 0.03%未満	<p>表 11.4-3 塗装の判定基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広範囲に錆やふくれがある。</li> <li>・ 錆を伴うはがれやひび割れが広範囲に発生している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 10%以上である。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>b</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな錆やふくれがある。</li> <li>・ 錆を伴うはがれが広範囲に発生している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.3%以上 10%未満である。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>c</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 錆やふくれが点在している。</li> <li>・ 上塗り塗料のはがれやひび割れが点在している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.03%以上 0.3%未満である。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>d</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期状態とほとんど変化なく、健全な状態である。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.03%未満である。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【塗装の判定基準を変更】</b></p>	判定基準		a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広範囲に錆やふくれがある。</li> <li>・ 錆を伴うはがれやひび割れが広範囲に発生している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 10%以上である。</li> </ul>	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな錆やふくれがある。</li> <li>・ 錆を伴うはがれが広範囲に発生している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.3%以上 10%未満である。</li> </ul>	c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 錆やふくれが点在している。</li> <li>・ 上塗り塗料のはがれやひび割れが点在している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.03%以上 0.3%未満である。</li> </ul>	d	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期状態とほとんど変化なく、健全な状態である。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.03%未満である。</li> </ul>
判定基準																								
a	欠陥面積率 0.3%以上																							
b	欠陥面積率 0.1%以上 0.3%未満																							
c	欠陥面積率 0.03%以上 0.1%未満																							
d	欠陥面積率 0.03%未満																							
判定基準																								
a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広範囲に錆やふくれがある。</li> <li>・ 錆を伴うはがれやひび割れが広範囲に発生している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 10%以上である。</li> </ul>																							
b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな錆やふくれがある。</li> <li>・ 錆を伴うはがれが広範囲に発生している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.3%以上 10%未満である。</li> </ul>																							
c	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 錆やふくれが点在している。</li> <li>・ 上塗り塗料のはがれやひび割れが点在している。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.03%以上 0.3%未満である。</li> </ul>																							
d	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期状態とほとんど変化なく、健全な状態である。</li> <li>・ 欠陥面積率が 0.03%未満である。</li> </ul>																							